

ガイドブック限定！
無料カウンセリング特別優待。
有効期限：本日より1カ月

問題集で重要なのは使い方。このガイドブックで問題集をよりうまく活用できる

「目からうろこでした」
プロ講師からも
大絶賛！

効率よく 点数に結びつく 問題集活用法



Learning For Life
Life For Learning

LFLの家庭教師 代表 齋藤裕一

最新版(090928) 第3版(081128) 第2版(081021) 初版(081018)



「どうも効率的に勉強できずに時間ばかりかかっているようで」
「うまく問題集を使いこなせないみたい」

このガイドブックは、こんな風にお悩みの方のために書かれました。

私は、毎日の学習や指導で悩んでいる子どもたち・保護者さま・塾や家庭教師などの先生方に対してさまざまなカウンセリングや指導を行っています。

今でこそ 1,000 名以上の方々へのカウンセリングや指導を行うまでになりましたが、10 年前は成績の悪い中学生でした。当時、私自身も学習について悩んでいて、どうしたらできるようになるのか四苦八苦したことを今でも鮮明に覚えています。

中学時代に最初にみた偏差値は 30 台でした。しかし、私は学習すること・勉強することを決してあきらめずに、絶えず試行錯誤を繰り返してきました。そして、その結果、進学高校および現役で国公立大学へと進学することができるまでになりました。

また、その経験を活かし大学進学後は各種機関での指導を始めました。その中で大学 2 年次には大手塾にて成績上昇で No. 1 講師になることができ、さらに家庭教師ではクラス内偏差値 17 の子を 4 か月後にクラス 1 位にするという実績を出すことができました。

さらには、現場での指導以外にも研究面では東京工業大学大学院で教育研究の経験(数学教育、授業設計、教師教育)を積み、学生時代からとても多くの経験を積む機会に恵まれました。

私は、これらの経験を積むなかで、「どうもこの子は勉強しているわりには点数に結びつかないな、どうしてだろう?」と考えるきっかけが何度もありました。それ以来、今日まで学んだ成果として点数もきちんと取れるように、日々どう指導していくべきか、試行錯誤を積み重ねてきました。

本ガイドブックは、私が試行錯誤して積み上げてきた学習や指導のノウハウの中でも、「問題集の活用法」について、最低限押さえておいてほしい、というエッセンスをまとめています。

子どもたちのなかには、一生懸命勉強しているのに点数に結びつかず、やる気を失っている子がいます。そんな子どもたちが、やればできるんだと自ら実感し、継続的に学習に励むことができるようになるように、との願いをこめて本ガイドブックを書きました。

本ガイドブックが子どもたちの学習にお役に立つことを心より祈念しております。

L F L の家庭教師 代表 齋藤裕一



もくじ

1. はじめに	3
1) よくある相談例	3
2) 学習内容が変化すれば、学習方法も変化する	4
2. 本ガイドブックの対象	6
1) 成果の期待できる子、できない子	6
2) 成功例の紹介	6
3) ベースとなる教科	8
4) 目指す目標	8
3. 問題集とは	9
1) 問題集とは	9
2) 問題集を用意にするにあたっての注意事項	10
4. 実際の学習方法	12
1) 学習とは何か？	12
2) 学習と確認の違い	13
3) よくある先生の指示例	14
4) 問題集活用法の基本的な考え方	14
5) 問題集活用法の流れ	15
6) 目からウロコ！花火型チェック法	16
7) 「できた／できなかった」の判断基準	20
5. 効果の検証	23
1) モデルによる比較	22
2) 錯覚によるプラス効果の事例	25
6. おわりに～「まずはやってみる」	28
■ 著者紹介	30
■ 無料メールサポートについて	32
■ L F Lの家庭教師へのご依頼について	32
■ L F Lの勉強会について	32
■ 企業様向け教育コンサルティングについて	32
■ 総合お問い合わせ先	32



1. はじめに

1) よくある相談例

はじめに、子どもたちの学習に関するよくある相談例をご紹介します。



◆塾に頼りすぎのAくん

東京都に住むAくんは、都内の進学塾に通っています。塾では、学校の授業とは関係なく授業が進んでいます。毎回の授業で宿題が出るのですが、学校の宿題も毎日あり、がんばり屋のAくんは、**両方をこなすことで1日の勉強が終わってしまいます。**

進学塾では、日々の授業に加えて、小テスト、模擬試験も行われます。テスト前には塾の先生がテスト対策をしてくれることもあります。塾の先生があたらしいプリントを用意してくれるので、いつもそのプリントを解いてテスト勉強をしています。

しかし、問題を数多く解いているわりには、学年が上がるにつれてどうもテストの点数が伸び悩んでいるようです。



◆勉強する習慣がないBさん

千葉県に住むBさんは、部活動が大好きな女の子です。毎日、夜遅くまで一生懸命部活動がんばっています。塾には通っていないので、自分で勉強しようとはしますが、部活から帰ってくると疲れてしまって勉強をしません。また、少し勉強してみても三日坊主です。

ただ、テストが近づき、テスト範囲が発表される頃になると部活動も休みになり、周りの友達も勉強モードになるためか、Bさんも勉強をはじめます。Bさんは一生懸命勉強しますが、学年が上がるにつれて試験範囲が広くなり、さらには内容も難しくなってきたこともあって**すべての内容を勉強することができません。**点数も少しずつ下がってきています。

◆お子さまも同じ間違いをしていませんか？

上記の2例は、私が指導経験したお子さまの実際の事例です。このような事例は特殊なものではなく実はたくさんあります。

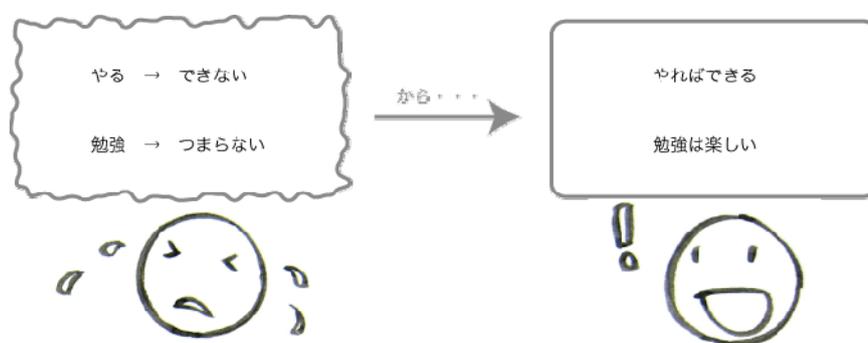
Aくんは、**塾に通うことで安心**してしまい、塾側の出す課題をひたすらこなすことを大切にするあまり、自分で何をしたらいいのか考えていません。Bさんは、**テスト前だけは勉強**しますが、テスト前の時間だけでは内容をすべて消化できず、そのまま時間切れでテストになってしまいます。



一般的には、年齢が上がるほど学習内容が高度になっていきます。また進度も早くなっていきます。確実にひとつずつ積み上げていかないと、どんどん成績が下がってしまうのは言うまでもありません。

私は、Aくん、Bさんのような状態が放置され、その後の対応が遅れすぎている状態から指導をスタートする機会が何度もありました。そのなかでいつも感じる悲しいことがあります。それは、子どもたちが「**やってもできない**」「**勉強なんてつまらない**」と学習してしまうということです。

一度そうってしまったら、その思い込みを覆すためには、大変な指導力と時間が必要です。ですから、そのような状態になる前に、「**やればできる**」、「**勉強は楽しい**」と学習してもらおうことが大切なのです。



2) 学習内容が変化すれば学習方法も変化する

さて、この2人の例からは、以下の教訓を学ぶことができます。

- ・塾のいうとおりに大量のプリントを解いても、成果があがるとは限らない。
- ・効率よく時間を使っていかないとすべての内容を学習し終えることができない。

塾に通っていれば必ず成績があがるとは限りません。自分で何をすれば成績があがるのかを考える必要があります。塾に通うのはあくまでも手段であって目的ではありません。「**頼る**」のではなく、「**活用する**」という意識を持って通うことが求められます。

また、テスト前だけではすべての内容を学習し終えることも、さらには身につけることもどんどん難しくなっていきます。小学生・中学生・高校生と年齢があがっていくほどこの傾向は顕著にあらわれます。学び方に変化がなく常に一定では必ず限界が来てしまいます。私は、過去の成功体験に固執してしまい、それがあだとなるケースもたくさんみてきました(特に、中学受験があだとなるケースは数え切れません)。**学習内容が量・質ともに変化していけば学習方法もより効率的になるようにブラッシュアップしていくことが求められます。**お子様は常にブラッシュアップしているでしょうか。



本ガイドブックでお話しするのは、学校・塾をはじめとしたさまざまな場所で用意される**問題集を効率的に活用する**うえでの具体的な方法論です。これは、実際にLFLの家庭教師で生徒指導の場面で活用されており、**実績を出し続けている現実的な方法論**のひとつで、丁寧に実行していくことで必ず成果が出ます。もし成績が伸び悩んでいるのであれば、本内容を用いてぜひブラッシュアップすることを実践されてください。

まず、ざっと全体をご一読いただき、その後、第4章を参照しながら実際に手順通りに実行してみてください。それが成功のための第一歩です。

■まとめ■

- ✓ 塾は頼るのではなく活用する
- ✓ 学習内容の変化に応じて、学習方法もブラッシュアップを！

～LFLが担当するご家庭からのお便り～

最近はお机にむかっている事も多く、日曜日も朝から図書館で一日過ごしていたようでした。少し勉強が楽しくなったと言っています。
ニコニコ楽しそうにしている様子が嬉しく思っています。



☆続きはダウンロードしてご覧ください☆

↓ダウンロードはこちらから↓

<http://www.lfl.jp/service/guidebook.html>



6. おわりに～「まずはやってみる」～

本ガイドブックは、実際に成果を出している問題集活用法について、すぐに実行可能な方法論の1つをお話いたしました。現場から生まれた方法論で、簡単でありながらすでに数々の実績を生み出しています。次に成果を出すのはお子さまの番です。

先日、面談の席で「できない」とばかり言っているお子さまとお話をする機会がありました。その子は「できない」のではなく、実際にはほとんど何もしていませんでした。過去にできなかった事実から思考が凝り固まってしまい、現在ではやる前から「できない」という思考癖が出来上がっているようでした。本来、「できない」ということは、やってみたとあとにはじめてわかるものです。私は子どもたちに『まずはやってみる。そして、やってみてはじめて「できない」と言えるんだよ。』とお話することを大切にしています。

もし成績が向上せずにお悩みの方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度やってみてください。花火型チェック法は挑戦してみる価値はあるかと思います。

なお、本ガイドブックにある方法論を構築するうえで、たくさんの方々にお世話になりました。

塾、家庭教師、予備校、学校で出会えたたくさんのお子さま、信頼して下さった保護者さま、いつもディスカッションしてくれる先生方をはじめ、本ガイドブックに素晴らしいイラストを描き命を吹き込んでくれたあずみさん、私の読みにくい文章をいつもにこやかな笑顔で読みやすく編集してくれた竹入優先生をはじめ、本当に多くの方々にお世話になりました。また今、こうやって本ガイドブックをお読みになったあなたと出会えたことも、心より感謝申し上げます。

私は現在も現場での生徒への指導や教師の指導力育成などを、LFLを中心に日々取り組んでいます。絶えず新しい方法論を築きあげ、数多くのお子さまへ対応できるように邁進しています。今後ともLFLをどうぞよろしくおねがいたします。

LFLの家庭教師 代表 齋藤裕一



～本ガイドブックを読まれた先生方からのご感想を紹介します～

いつもブログ拝見させていただいています。

齋藤さんに mixi でメッセージを頂いてから、教育に対して以前より真剣に考えることができるようになりました。ありがとうございます。

勉強の仕方は考え方1つで大きく変化し、良い方向にも、悪い方向にもいってしまうことは常に自分自身に言い聞かさなければいけないと感じます。

実行することの大切さ、これから伝えることができたらなと思います。

PS. 「LFL」の数学的な意味とても感動しまし

良い方向にも
悪い方向にも
いっちゃうんだ



勉強のやり方だ

～本ガイドブックの読者の方からのご感想を紹介します～

特に4章をよんで初心というか、自分がベースにしていたものを思い出させてもらいました。というのも、どうにか成績を上げたいと思って、(個別なんですけど)授業の進め方をいろいろと(少し生徒を無視して)

比較的短いスパンで変え

てしまっていたりしていたからです。

もう一度生徒と空気を作っていきたいです。

思いやり
大切



授業のやり方



著者紹介

齋藤 裕一(さいとう ゆういち)

1982 年生まれ。埼玉県出身。東京工業大学大学院卒。修士論文は、数学教育・教師教育・授業設計がテーマ。専門：教育工学。教員免許の最高峰である専修免許状取得。



中学 1 年次にはじめに見た偏差値 30 台。その後、中学時代にお世話になった塾の先生の影響で人生が一変し、地元の進学高校へ進学。高校時代に漠然と数学の先生にあこがれ、東京都立大学理学部数学科へ進学。大学 1 年次から、大手集団塾講師、個別指導塾講師、家庭教師、予備校講師をはじめ、教育実習を含め学生時代に 10,000 時間以上、1,000 名以上の生徒指導を経験。学生時代に子どもたちの学習における問題解決を専門とする家庭教師団体 **educationalgroup** を主宰。大学院卒業と同時に、理想の教育を追い求め、L F L 株式会社を設立。代表取締役就任した現在も現場での生徒指導および教師教育を実践中。

◆主な実績◆

【指導実績】

- ◎大手進学塾にて、大学 2 年次に 1 年間で生徒 60 名の偏差値の平均を 49 から 58 まで UP させ成績上昇率で No.1 講師。
- ◎家庭教師にて、週 1 回 1 ヶ月半の指導で、有名私立中高一貫校中 3 生が、長期休暇明けの実力試験において、これまで学習した全内容が出題範囲にも関わらず、学年下位 1 割層から一気に学年 9 位(約 150 名中)を達成。
- ◎家庭教師にて、6 ヶ月間の指導で「成績 3」から、定期テスト学年女子 1 位 & 実力テスト学年女子 1 位の 2 連覇達成。その後、模擬試験にて満点獲得(首都圏 1 位)。その 3 ヶ月後、再び期末テストにて、学年女子 1 位獲得。

【出版・メディア掲載】

- ◎2008 年 5 月 プレジデントファミリーへの取材協力
- ◎2008 年 7 月 高校受験用問題集への執筆協力
- ◎2010 年 1 月 覚悟の瞬間 (インタビュー動画) への取材協力

【ブログ】

- ◎google 検索「家庭教師」「数学」にて、3 年以上 1 件目達成
塾・家庭教師・予備校指導日記☆

【論文】

- ◎修士論文

「数学的な考え方の実践的活用力を育成する授業のモデル化とその設計指導のシステム化」





イラスト

趣ほのぼの絵師 あずみ

1982年生まれ。山梨県出身。筑波大学卒。

「にんげんくさい どうぶつたち」のシュールな世界を一枚絵に描く。大学生100人アンケートでは、グッズのひとつである「どうぶつしおり」を91人が「買う！」と回答した。また、「笑顔あふれるあったか似顔絵」を街行く人たちに届けている。寄り添ってくれるような温かい絵だと口コミで広がっている。



◆主な実績◆

【イラスト／デザイン】

- ◎「LFLの家庭教師」様のロゴマーク作成、HPトップバナー画像ほか作成
- ◎「JEWEL MALL」様のHPトップ画像作成
- ◎お好み焼きもんじゃ焼き「より味ち」様にて、キャラクター付メニューが2年以上人気No.1
- ◎世界的マジシャン「さとる」様の手品レクチャーノートの表紙・挿絵カット作成
- ◎その他、ウェルカムボード、名刺デザイン、キャラクター作成など多方面で活躍中

【出版】

◎2009年9月 「続・輝く女性の生き方」(三根早苗著／本の泉社) 表紙イラスト作成

【ブログ】

あずき井 (<http://azukidon.blog.shinobi.jp/>)

* * * * *

編集・校正

竹入 優(たけいり ゆう)

1985年生まれ。千葉県出身。東京大学卒。

東京大学大学院在学中。専門：日本語学。

大学1年次から予備校進路指導員、高校での進学指導補習講師、

家庭教師を務め、大学3年次、齋藤主宰の家庭教師団体

educationalgroupに参加。引き続きLFLの家庭教師に在籍。

LFL公認学習アドバイザーとして、生徒指導に携わる。

指導科目は国語・英語・小論文(作文)。

エントリーシート、AO入試対策など幅広い文章添削指導を行う。

ホームページ：<http://www.lfl.jp/teacher/takeiri/html> (教師紹介ページ)





■無料メールサポートについて

- ・期間：本日より1カ月以内
- ・質問先メールアドレス：guidebook@lfl.jp 担当 齋藤

この度、LFLでは、はじめて一般公開用にガイドブックを作成させて頂きました。至らない点も数多くあったことと思いますので、ご不明な点やご質問などがございましたらお気軽にお問い合わせください。うまく伝えることのできなかつた点については、よく反省をし、本ガイドブックをより良いものにできるように改善および修正に努めてまいります。

■LFLの家庭教師へのご依頼について

お気軽にご相談ください。家庭教師のお問い合わせ、学習に関する電話カウンセリングをはじめ、日本全国に対応しています。PCを用いた映像個別授業も実施中。

■LFLの勉強会について

- ・ご案内ページ：<http://www.lfl.jp/study/>

LFLでは年間60回以上、各種勉強会を実施しています。プロ講師向け、学生講師向け、保護さま向け、チームLFL向けなど、さまざまな方々との学び合いをテーマに開催中です。紙面では伝わらない臨場感のある勉強会でお会いできることを楽しみにしております。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

■企業様向けコンサルティングについて

塾、家庭教師、予備校、学校など、各種教育機関における教育・人材育成コンサルティングのご相談も受け付けております。まずはお気軽にご相談ください。

～総合お問い合わせ先～

- ・ホームページ：<http://www.lfl.jp/>
- ・ご相談専用窓口：080-7026-6179 担当 齋藤／吉田
- ・メールアドレス：contact@lfl.jp